



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,285	20.9	481	31.6	484	35.1	326	35.5
29年3月期第2四半期	3,545	23.5	366	53.4	358	50.2	240	56.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 350百万円 (53.2%) 29年3月期第2四半期 228百万円 (121.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	59.83	
29年3月期第2四半期	44.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,618	4,343	50.4
29年3月期	7,214	4,157	57.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,343百万円 29年3月期 4,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		30.00	30.00
30年3月期		16.00			
30年3月期(予想)				19.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成30年3月期の中間配当については、本日(平成29年11月2日)、別途公表の「剰余金(中間配当)に関するお知らせ」をご覧ください。
 また、期末配当についても本日、「平成30年3月期(第47期)期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」にて、期末配当予想の修正を公表しておりますのでご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,348	3.2	849	2.0	849	1.9	561	1.9	103.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	5,500,000 株	29年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	51,371 株	29年3月期	51,274 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	5,448,648 株	29年3月期2Q	5,448,759 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
(1) 受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業収益の改善が続くなか、国内の設備投資は堅調に推移し、緩やかながらも回復基調が継続いたしました。一方、海外経済は、米欧などの先進国をはじめとして堅調に推移しておりますが、米国の今後の政策やその影響、また、北朝鮮問題と言った地政学リスク等を払拭できず、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社においては、FA装置（FA：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）及びロボット関連機器等に使用される主力製品「アルファフレームシステム」の売上高が引続き順調に推移し、有機ELやLCDといったフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）製造企業からの受注も高い水準を維持しながら伸びました。また、FA装置においては、国内外の自動車部品製造企業向け洗浄装置や検査装置、FPD製造企業向けの大型カスタムクリーンブース等、当社グループの技術力を活かした提案型営業活動を展開し、堅調に受注を確保いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,285百万円と前年同四半期と比べ740百万円（20.9%）の増収、営業利益は、481百万円と前年同四半期と比べ115百万円（31.6%）の増益、経常利益は484百万円と前年同四半期と比べ125百万円（35.1%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、326百万円と前年同四半期と比べ85百万円（35.5%）の増益となり、連結決算となつてから第2四半期連結累計期間の各利益は、2期連続で最高益を更新する結果となりました。

なお、前連結会計年度に掲げた中長期経営計画の一環として、本年7月に開設した立山事業所（富山県中新川郡立山町）は、装置事業の拡大を担う重要な拠点として順調に稼動を開始しております。

また、関東を中心とした東日本のお客様へのサービス向上及び海外のお客様からのニーズにも迅速にお応えできる体制構築の一環として開設したアルファフレーム北関東（埼玉県児玉郡神川町）も、同じく本年7月より、「アルファフレームシステム」の出荷センターとしての業務を開始し、当初計画どおりの稼働状況に至っております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、設計サポートサービス「カクチャTM」及び組立作業の省力化を可能とする「マーキングシステムTM」を活用し、アルミニウム合金製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。

これによって、「カクチャTM」及び「マーキングシステムTM」を活用する企業からの受注案件は更に増加し、FPD製造設備を製作する企業より安定した受注を確保するとともに、半導体製造設備業界向けの成約も高水準を維持いたしました。

この結果、当部門の売上高は2,670百万円（前年同四半期比131.5%）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、引き続き当社の技術力を活かした質の高いFA装置の提案活動を推進し、第1四半期連結会計期間では、前連結会計年度より引き続き自動車部品製造企業向けの洗浄、検査、試験等の単体設備及びFPD業界向けクリーンブース案件を継続受注いたしました。当第2四半期連結会計期間では前連結会計年度を上回る受注を確保し、第1四半期連結会計期間における売上高の減少分を取り戻す傾向となりました。また、今後の受注状況も順調に推移する見込みであります。

この結果、当部門の売上高は948百万円（前年同四半期比95.3%）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客より安定的に工業用砥石、油脂類等の消耗品関係の受注を確保いたしました。また、機械設備関係では、複数の主要顧客より大口案件を受注し、売上高が伸びました。この機械設備関係については、第3四半期以降においても受注、売上高ともに順調に推移するものと見込んでおります。

この結果、当部門の売上高は667百万円（前年同四半期比128.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ1,403百万円増加し、8,618百万円となりました。これは主に、現金及び預金が379百万円、電子記録債権が787百万円、仕掛品が297百万円、建物（純額）が688百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が794百万円減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ1,216百万円増加し、4,274百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が213百万円、電子記録債務が178百万円、短期借入金が150百万円、長期借入金が660百万円、設備関係支払手形が194百万円、それぞれ増加したことなどによります。

純資産は前期末と比べ186百万円増加し、4,343百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上326百万円があった一方で、配当金の支払い163百万円があったことにより、利益剰余金が162百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ379百万円増加し、687百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の104百万円のキャッシュ・インに対し、66百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加484百万円や仕入債務の増加による資金の増加391百万円などの資金の増加があった一方で、たな卸資産の増加による資金の減少552百万円や法人税等の支払いによる資金の減少199百万円があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の108百万円のキャッシュ・アウトに対し、336百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が332百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の74百万円のキャッシュ・インに対し、646百万円のキャッシュ・インとなりました。これは短期借入金の純増額が150百万円、長期借入金による収入が660百万円あった一方で、配当金の支払いによる支出が162百万円あったことなどが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において、平成29年5月12日付の「平成29年3月期決算短信（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、今後の経営環境により、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	308,801	687,825
受取手形及び売掛金	2,427,361	1,633,278
電子記録債権	896,779	1,684,658
商品及び製品	189,934	364,782
仕掛品	438,044	735,305
原材料及び貯蔵品	329,197	411,282
その他	81,775	112,435
貸倒引当金	△323	△287
流動資産合計	4,671,571	5,629,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,874,863	2,593,325
減価償却累計額	△1,169,626	△1,200,075
建物及び構築物（純額）	705,237	1,393,250
土地	535,874	535,874
その他	1,090,210	846,815
減価償却累計額	△517,019	△535,934
その他（純額）	573,190	310,880
有形固定資産合計	1,814,303	2,240,005
無形固定資産		
その他	58,093	51,436
無形固定資産合計	58,093	51,436
投資その他の資産		
その他	672,771	699,147
貸倒引当金	△1,781	△1,781
投資その他の資産合計	670,990	697,366
固定資産合計	2,543,387	2,988,808
資産合計	7,214,958	8,618,088

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	928,466	1,142,126
電子記録債務	845,546	1,023,778
設備関係支払手形	270,000	464,400
短期借入金	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	38,000	76,000
未払法人税等	220,755	167,755
賞与引当金	99,964	105,773
製品保証引当金	1,462	1,383
その他	299,171	173,367
流動負債合計	2,703,367	3,304,584
固定負債		
長期借入金	62,000	684,000
退職給付に係る負債	192,606	191,671
その他	99,837	93,963
固定負債合計	354,444	969,634
負債合計	3,057,811	4,274,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,608	145,608
利益剰余金	3,782,177	3,944,744
自己株式	△34,529	△34,723
株主資本合計	4,049,356	4,211,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,538	115,905
為替換算調整勘定	10,773	15,783
その他の包括利益累計額合計	107,312	131,688
非支配株主持分	478	450
純資産合計	4,157,147	4,343,868
負債純資産合計	7,214,958	8,618,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,545,481	4,285,984
売上原価	2,642,235	3,197,793
売上総利益	903,245	1,088,191
販売費及び一般管理費	537,015	606,366
営業利益	366,229	481,824
営業外収益		
仕入割引	2,922	3,728
受取保険料	700	—
その他	550	661
営業外収益合計	4,172	4,389
営業外費用		
支払利息	135	677
手形売却損	113	—
電子記録債権売却損	254	56
為替差損	10,169	749
その他	903	33
営業外費用合計	11,576	1,517
経常利益	358,826	484,696
税金等調整前四半期純利益	358,826	484,696
法人税、住民税及び事業税	124,553	155,362
法人税等調整額	△6,286	3,341
法人税等合計	118,267	158,703
四半期純利益	240,558	325,993
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△34
親会社株主に帰属する四半期純利益	240,558	326,028

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	240,558	325,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,781	19,366
為替換算調整勘定	△4,050	5,016
その他の包括利益合計	△11,831	24,383
四半期包括利益	228,727	350,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,727	350,404
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	358,826	484,696
減価償却費	62,827	83,878
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△35
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,062	5,808
製品保証引当金の増減額(△は減少)	26	△79
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,938	△934
受取利息及び受取配当金	△263	△233
支払利息及び手形売却損	503	734
売上債権の増減額(△は増加)	△82,861	6,444
たな卸資産の増減額(△は増加)	△292,348	△552,661
仕入債務の増減額(△は減少)	155,198	391,891
未収消費税等の増減額(△は増加)	△12,885	△58,731
為替差損益(△は益)	7,130	△199
その他	15,860	△93,306
小計	234,014	267,272
利息及び配当金の受取額	166	149
利息の支払額	△503	△734
法人税等の支払額	△129,267	△199,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,410	66,986
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99,893	△332,239
無形固定資産の取得による支出	△5,834	—
投資有価証券の取得による支出	△2,400	△2,400
その他	△813	△1,970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,941	△336,610
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	150,000
長期借入れによる収入	—	660,000
自己株式の取得による支出	—	△193
配当金の支払額	△125,147	△162,859
財務活動によるキャッシュ・フロー	74,852	646,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,628	1,701
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	63,692	379,023
現金及び現金同等物の期首残高	252,781	308,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	316,473	687,825

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

① 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,646,017	103.9	1,632,161	130.1
装置部門	995,373	94.1	609,602	155.7
商事部門	1,000,170	176.7	478,824	208.7
合計	4,641,561	111.3	2,720,589	145.1

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	2,670,492	131.5
装置部門	948,267	95.3
商事部門	667,224	128.4
合計	4,285,984	120.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。